



1 単元名・教材名 「Nice to meet you.～新しく来られた先生方と名刺交換をしよう～」
『Junior Sunshine 5』 Lesson 1 「Nice to meet you.名刺交換をしよう。」

2 単元の目標

- アルファベットで自分の名前を書くことができる (知識・技能)
- 名前や好きなものを含めて自己紹介をすることができる。 (思考力・判断力・表現力)
- 他者に配慮しながら、進んで自分のことを伝えたり相手のことを知ろうとしたりする。
(主体的に学習に取り組む態度)

3 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
話すこと [やり取り]	イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。
書くこと	大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。

4 単元の評価規準 ※記録を残す評価

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	〈知識〉 Hello.I'm～. Nice to meet you. などの表現について理解している。 〈技能〉 登場人物や先生の自己紹介について、 Hello.I'm～. Nice to meet you. などの表現を聞き取る技能を身に付けている。	登場人物や先生がどんな人かを理解するために、名前や好きなもの、挨拶などについて話されるのを聞いて、その概要を捉えている。	登場人物や先生がどんな人かを理解するために、簡単な語句や基本的な表現を用いた名前や好みなどを聞こうとしている。
読むこと	〈知識〉 活字体のアルファベットやヘボン式ローマ字で書かれた名前について理解している。 〈技能〉 活字体のアルファベットやヘボン式ローマ字で書かれた名前を識別したり、その読み方を発音したりする技能を身に付けている。	活字体のアルファベットで自分の名前を書くために、アルファベットを発音したり、必要な文字を探して組み合わせて声に出して読んだりしている。	活字体のアルファベットで自分の名前を書くために、発音したり、必要な文字を探して組み合わせて声に出して読んだりしようとしている。
話すこと [やり取り]	〈知識〉 Hello.I'm～. Nice to meet you. などの表現について理解している。 〈技能〉 自己紹介について、 Hello.I'm～. Nice to meet you. などの表現を伝え合う技能を身に付けている。	友達や先生と名刺交換をするために、自分の名前や好みなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合っている。	友達や先生と名刺交換をするために、自分の名前や好みなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合おうとしている。
書くこと	〈知識〉 活字体のアルファベットについて理解している。 〈技能〉 活字体のアルファベットを書いたり、ヘボン式ローマ字で自分の名前を書いたりする技能を身に付けている。	名刺カードを作るために、活字体のアルファベットを、4線の正しい位置に書いている。	名刺カードを作るために、活字体のアルファベットを、4線の正しい位置に書こうとしている。

5 単元の指導と評価の計画（4時間）

時	目標◆・活動○【】	評価			
		知 技	思 判 表	態 度	評価規準〈評価方法〉
1	◆教師の自己紹介を聞き、おおよその内容を理解することができる。				
	○Small Talk ・担任、ALTの自己紹介を聞き、本時のめあてをつかむ。 【Let's Listen1】 ・教科書に出てくる新藤先生の自己紹介を聞き、おおよその内容を確かむ。 ○単元のゴールをつかむ。 ○既習の表現を使って自己紹介をする。 ・友達ビンゴゲーム 【Let's Watch and Think】 ・世界のさまざまな挨拶を聞く。	聞			Hello.I'm～. Nice to meet you.などの表現について理解している。〈行動観察〉
2	◆アルファベットに慣れ親しみ、アルファベットゲームを楽しむことができる。				
	○Small Talk ・ジェスチャーゲーム ○名刺を見て、本時のめあてをつかむ。 【Let's Sing2】 ・ABC Songを歌う。 ○アルファベット早並べ ○アルファベットキーワードゲーム ○アルファベットラッキーカードゲーム ○アルファベットで自分の名前を書き写す。	書	読	読	アルファベットの「名称読み」とカードを一致させている。〈行動観察〉 アルファベットについて理解している。〈書き込み点検〉記録
3	◆自分の名前をへボン式ローマ字で書いた名刺を作ることができる。				
	○Small Talk ・ジェスチャーゲーム ○名刺交換のデモンストレーションを見て、本時のめあてをつかむ。 【Let's Read and White】 ・自分の名前をへボン式ローマ字で書く。 ○自分の好きなものや誕生日を書き写す。		聞	聞	自己紹介を聞いて、おおよその内容を捉えている。〈行動観察〉 4線にへボン式ローマ字で自分の名前を書いた名刺カードを作っている。〈書き込み点検〉記録
4	◆名刺交換をしながら友達に挨拶や自己紹介ができる。もらった名刺に書かれている友達や先生の名前を読むことができる。				
本時	○Small Talk ・ジェスチャーゲーム ○名刺交換のデモンストレーションを見て、本時のめあてをつかむ。 ○友達に名刺を渡しながらか自己紹介をする。 ○相手のことを知るためにどうすればよいか話し合う。 ○先生と名刺交換をする。	や		や	自己紹介の表現について理解している。〈行動観察〉 自己紹介の表現を用いて友達や先生と名刺交換をしている。〈行動観察〉 へボン式ローマ字で書かれた先生の名前を読んでいる。〈行動観察〉

課 外	◆名刺交換をしながら新しく来られた先生方に挨拶や自己紹介ができる。			
	○4人組で一人の先生のところへ行き、名刺を渡して自己紹介と質問をする。		や	や

6 指導上の立場

(1) 単元観

本単元は、5年生の英語学習の最初の単元である。新しく出会う先生に英語で自己紹介をするという単元ゴールの言語活動を設定することで、必然性をもって英語での自己紹介活動に取り組むことができるであろう。また、その際に名刺交換を行うことで、自分の名前を英語で書く必要も出てくる。4年生までの英語学習で慣れ親しんだアルファベットを想起させるとともに、自分の名前をへボン式ローマ字で書いたり友達や先生の名前を読んだりすることに慣れさせたい。また、単元を通して、自己紹介の相手を互いによく知っている友達から担任やALT、小中連携担当教員、そして新しく来られた先生へと広げていくことで、相手によって自己紹介で伝えたいことや聞きたいことも変わっていくことに気づき、語彙を広げることができるようにする。そして、自分のことだけを一方的に伝えるだけではなく、相手に配慮したやり取りについても考える場面を設定し、英語での挨拶や受け答えの表現についても触れることができるようにする。

アルファベットの学習では、帯活動としてではなく、単元の前半でチャンツやゲームをしながら形や音を想起させたり、大文字、小文字ともに文字の形を確認しながらひとつおりの書いたりして復習する。名刺カード作成のための時間も確保し、相手にとって正しく読みやすい形で書こうとする意欲を導き、手本をもとにして4線上に正確なアルファベットを書くことができるように支援する。

(2) 児童観

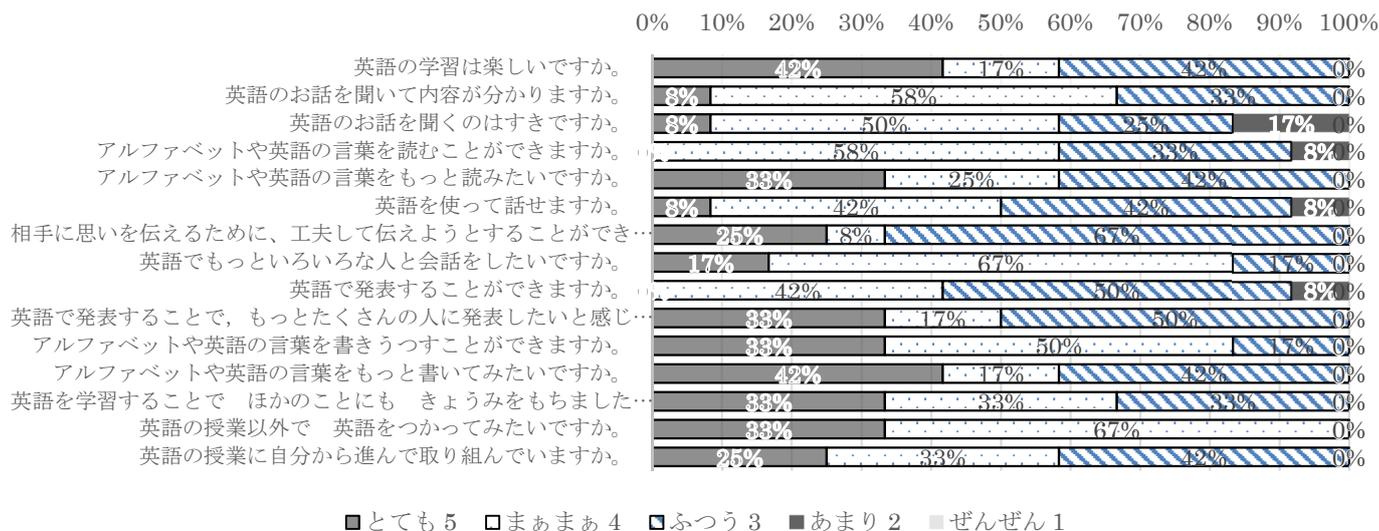
今年度5月に行った英語アンケートでは、「英語の勉強が楽しいですか」に対して100%の児童が肯定的な回答を示していて、英語の学習に意欲的に取り組んできたことがうかがえる。また、「もっと読みたい」「もっと書きたい」「英語を使って話してみたい」という意欲も高いことが分かる。

本単元では、児童が自信をもって自分のことを伝え、英語でやり取りをする楽しさを改めて感じることができるようになりたい。そのために、難しい表現を多く取り入れることを目的とせず、これまで慣れ親しんだ自己紹介の表現やアルファベットを、チャンツやゲームで想起させ、活用できるようにする。先生への自己紹介が単元のゴールであることから、相手意識をもって、自分の思いを言葉や文字で伝えることができると考える。新しい先生方と英語でつながる楽しさを味わうことで、英語学習への意欲やもっといろいろな人と関わっていきたいという思いが高まる姿を期待する。

書くことに関しては、現在、自分の名前をへボン式ローマ字で正しく書くことができる児童は2名である。この単元を通して、書くことに必然性をもたせ、自分の名前を4線上に正しく書くことができるようにさせたい。

図 1

英語アンケート（5年）



※図 1：今年度 5 月に行ったアンケート結果

(3) 研究主題との関わり

本校の研究主題は「自分の思いや考えを伝え合い、地域や世界とつながろうとする児童の育成～本物で必然性のある外国語活動・外国語科を目指して～」であり、本校の考える仮説についての基本的な考え方は、次の 3 つである。

仮説

- 1 単元や発達段階の特性を踏まえて言語活動を工夫することにより、児童は、自分の思いや考えをもち、それを伝え合おうとするであろう。
- 2 1 単位時間または単元の中で、児童自身による評価（振り返り）や教師による評価を適切に行うことによって、児童は思考力・表現力・判断力を高めながら学習に取り組むであろう。
- 3 学びのつながりを意識して、様々な人々と関わるができる単元（新本オリジナル）を構成することで、英語によるコミュニケーションの楽しさを味わい、より広い世界に目を向けるであろう。

1 について

Warming up では、ジェスチャーゲームの言語活動を取り入れる。このゲームを通して、言葉だけではなくジェスチャーも思いを伝えるための大切な手段であることに気付いたり、何とかしてコミュニケーションを図ろうとする力を養ったりすることができるようにしたい。単元前半の Activity では、チャンツやゲームを多く取り入れ、楽しみながら既習事項を想起できるようにする。単元後半では、指導者によるデモンストレーションによって自らめあてを見つけ、自己紹介に向けてこんなことも伝えたいという自分の思いを広げていくことができるような言語活動を取り入れる。文字指導では、名刺を作るという書く必然性のもとで、自分が伝えたい情報について、手本を見ながら 4 線上に正しく書くことを目指す。

本時では、ペアで自己紹介をし合ったあとで中間交流の場を設け、相手が先生の場合は自己紹介に付け加えたいことはないかを話し合う。他者に配慮をしたコミュニケーションマナーの必要性や質問内容を考えられる場としたい。そうすることで、自分の思いや考えがこめられた自己紹介ができるようにしたい。

2 について

毎回の授業の時間で全てを見取るのではなく、単元のまとまりの中で学習内容と評価の場面を適切に組み立てていくことができるようにするため、単元を通した評価の計画を立てている。この評価規準と評価の計画を活用することで、児童の学習状況を的確に捉え、教師の指導改善につなげることができるようにする。担任、ALT、小中連携担当教員が同じ場面、同じ評価規準で児童を評価することで、個々の児童の達成状況に応じたより適切な支援ができると考える。本単元では、「話すこと[やり取り]」「書くこと」に焦点を置き、記録に残す評価を行う。

児童は、単元に入る前に、教科書裏表紙の CAN-DO マップで、単元終了後に達成すべき自分の姿を確認する。1年間単元が終わるごとに英語を使って「できた」ことを振り返り、その積み重ねを自信にして、6年生への学びにつなげられるようにする。また、1時間ごとに My Aim として、全体のためとと一緒に、自分が到達させたいめあてをもつことができるようにする。授業後に達成度を振り返ることで、できたことと次にがんばりたいことを自覚できるようにする。そうすることで、児童の思考力・表現力・判断力を高められると考える。

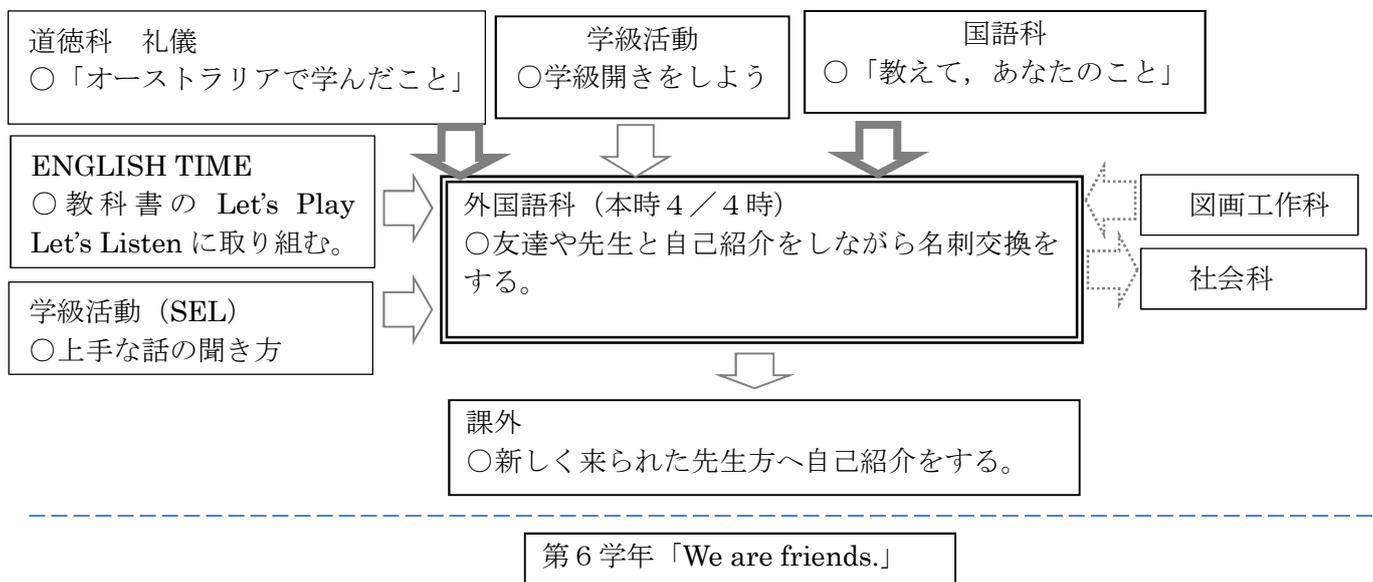
本時では、先生方に自己紹介をして名刺交換を行う。これまでの自己評価とは異なり、先生方からの客観的な評価をフィードバックしてもらうことで、自分を知り、次時に向けてさらに自己調整しようとする姿を期待する。

3 について

本単元のねらいは、自己紹介をすることである。しかし、本学級は少人数で互いのことをよく知っているため自己紹介の必然性が乏しい。そこで、新しく来られた先生に自己紹介をするという単元ゴールの言語活動を設定することで、児童の意欲を喚起する。3月から休校が続き、人との接触が制限されてきた児童らにとって、新しく来られた先生方との出会いは、新鮮で興味をひくものと思われる。自分たちのことを知ってもらい、先生方のことも知りたいという思いを大切に単元を組み立てることで、英語で自己紹介をする活動に必然性をもたせる。また、自己紹介の相手を友達から指導者、そして新しく来られた先生方と広げていくことで、自己紹介表現の定着を図るとともに、他者へ配慮したやり取りについての思考を高められるようにする。

本時は、単元ゴールの1時間前の学習であり、実際の名刺交換を初めて体験する場面となる。友達同士でやり取りをした後、自分の思いや考えを広げたり深めたりできるような中間交流ができるようにしたい。また、先生方とのやり取りの後で先生方から評価を返してもらうことで、単元ゴールに向かってさらに自己調整していこうとする姿が見られるようにしたいと考えている。

7 関連構想図



8 本時案

(1)本時のねらい

- ・ 名刺交換をしながら友達に挨拶や自己紹介ができる。
- ・ もらった名刺に書かれている友達や先生の名前を読むことができる。

(2)展開

学習活動	教師の指導・支援(●HRT, ■ALT ▲JTE)	学習評価		
<p>1 Greeting</p> <p>2 Warm up 「ジャスチャーゲーム」</p> <p>3 Review Demonstration</p>	<p>●■▲英語であいさつをした後、気分や天気、曜日、日付、好きなものなどについて尋ねることで、日常的に使える英語表現に慣れ親しむことができるようにする。</p> <p>●食べ物4つ提示し、どの食べ物が一番好きか、ジェスチャーで伝え合い、同じグループを作る。そうすることで、何とかして伝えてようとする力につなげる。</p> <p>●▲■できたグループで、一人ずつ好きな食べ物を発表し、答え合わせをすることで、「I like～」の表現に慣れ親しむことができるようにする。</p> <p>■▲名刺を交換しながら自己紹介をするデモンストレーションを見せることで、本時のめあてをつかむことができるようにする。</p> <p>▲Hello. My name is Sugimoto Hirotooshi. Nice to meet you. ■Hello. My name is Kojyo Daisy. Nice to meet you too. ▲I like Syogi. I can play table tennis. ■You can play table tennis !Oh really? ▲Yes. This is my name card. Here you are. ■Thank you. I like bananas. I can play ukulele. I have fish. ▲Waw! Fish! That's good. See you! ▲See you!</p> <p>●どんなことが分かったか話し合うことで、内容のたいたいをつかむことができるようにする。</p> <p>●自分が名刺交換をするときにまねしたいところや、難しそうなどところを出し合うことで、自分のめあてをもつことができるようにする。</p> <p>[気付かせたいコミュニケーションマナー] ・ 始めと終わりの挨拶 ・ 笑顔 ・ うなずき ・ 相手のことばに反応 ・ 名刺の渡し方</p>			
4 Aim	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;">Aim</td> <td>コミュニケーションマナーを実践して、名刺交換をしよう。</td> </tr> </table>	Aim	コミュニケーションマナーを実践して、名刺交換をしよう。	
Aim	コミュニケーションマナーを実践して、名刺交換をしよう。			
<p>5 Activity ・ 名刺交換①</p> <p>・ 中間評価</p>	<p>●My Aim として、本時でアップさせたい力をカードに書いておくことで、自ら学ぼうとする意欲を引き出すようにする。</p> <p>●二人組で名刺を交換し合うことで、英語でのやり取りを楽しむことができるようにする。</p> <p>●▲■「Finger tip」を合言葉にして、感染症予防のため、伸ばした手があたらない距離で話すように注意を促す。</p> <p>●▲■コミュニケーションマナーが優れていた二人組を紹介することで、よさを広げられるようにする。</p>	<p>◇自己紹介の表現について理解している。〈行動観察〉</p> <p>【知・理】やり取り</p>		

<p>・名刺交換②</p> <p>6 Comment time</p>	<p>●単元のゴールが新しく来られた先生であることを想起させ、先生のことを知るにはどうしたらよいか考えさせる。</p> <p>[予想される内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問する ●事前に決めておいた先生のことをイメージしながら、二人組で質問を考えるように助言する。 ▲■困っているペアにアドバイスをする。 ●二人一組で参観の先生方と名刺交換をすることで、友達とアドバイスをしながら活動できるようにする。 ●▲■児童を称揚しながら観察し、新しい表現に慣れていない児童に、発音を支援したり質問を促したりする。 ●名刺交換をした先生方から、評価カードをもらい、アドバイスをされることで、自分自身を知り、自己調整力を高めることができるようにする。 ●ふりかえりカードに My Aim の達成度を記入し、単元を通して高められた力を実感することができるようにする。 ●本時の学習で新たに学んだことや今後生かしていきたいことを記述することで、学びに向かう力を高められるようにする。 	<p>◇自己紹介の表現を用いて友達と名刺交換をしている。〈行動観察〉【思・判・表】</p> <p>【主】やり取り</p> <p>◇へボン式ローマ字で書かれた先生の名前を読んでいる。〈行動観察〉【知・理】</p> <p>読むこと</p>
<p>・ コミュニケーションマナーを実践することができてよかった。</p> <p>・ 質問をすると相手とのことが分かり、もっと仲良くなれることがわかった。</p> <p>・ 先生への自己紹介では、もっと笑顔と反応に気を付けたい。</p>		
<p>7 Greeting</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■発音に関してよかったことや気になることを伝え、英語表現の理解を深められるようにする。 ▲6 学年や中学校へのつながりを意識できるコメントを伝える。 ●伝えようとする気持ち、相手のことを知りたい気持ちを大切にして、先生方への自己紹介ができるように声掛けをする。 ● 気持ちのよいあいさつをすることで、次時への意欲を高めることができるようにする。 	

(3) 板書計画

Goal	新しく来られた先生方に名刺を渡して自己紹介をしよう。	
Aim	コミュニケーションマナーを実践して、名刺交換をしよう。	
	コミュニケーションマナー	相手のことを知るためには
	<ul style="list-style-type: none"> ・初めと終わりのあいさつ ・笑顔 ・うなずき ・相手の言葉に反応 ・名刺のわたし方 	<p>質問しよう！ What do you like～？</p> <p>When is your birthday?</p> <p>Do you like baseball?</p>

Lesson1 Nice to meet you.名刺交換をしよう

Grade

Name

.....
.....
.....

がんばるリスト

できた → とてもよくできた

自己紹介で相手の話していることのだいたい分かる。



名刺に書いてある相手の名前を読むことができる。



友達や先生に、自分のことをわかりやすく伝えたり、
質問や反応をして相手のことを知ろうとしたりすることができる。



アルファベットで自分の名前や好きなものを正しく書くことができる。



Date /	My Aim	How about today's lesson? ・がんばった・初めて知った・前と比べて ・難しかった・次回は…
Date /		

〈資料2〉本時で、先生方が児童に渡す評価カード

To() From()

Special Comment card

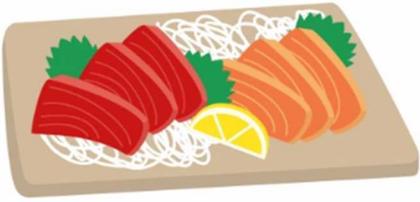
初めと終わりのあいさつ	1	2	3	4	5
笑顔	1	2	3	4	5
うなずき	1	2	3	4	5
相手の言葉に反応	1	2	3	4	5
名刺の渡し方 目を見て「Here you are.」	1	2	3	4	5

Message



〈資料3〉児童が作る名刺のイメージ

Shinpon Taro



cook



sashimi